

経営比較分析表（令和3年度決算）

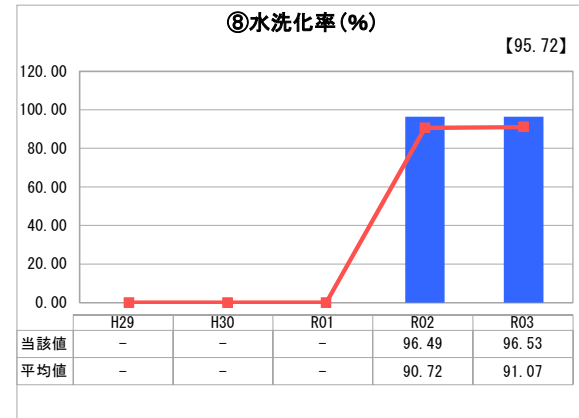
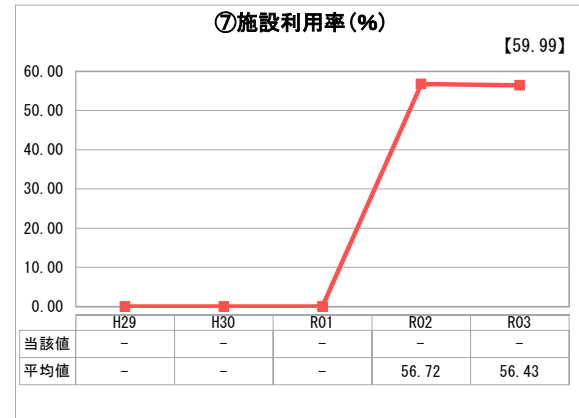
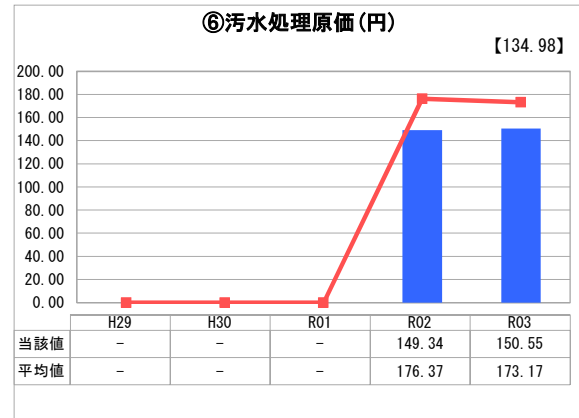
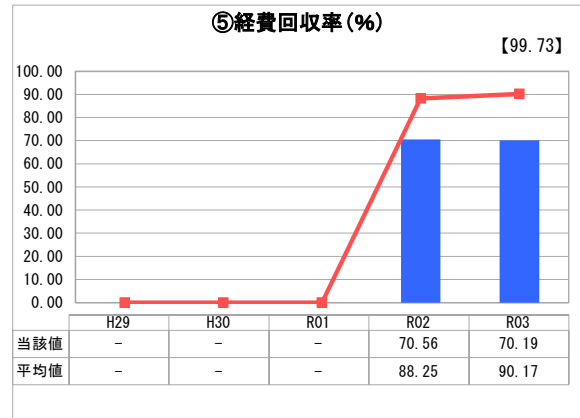
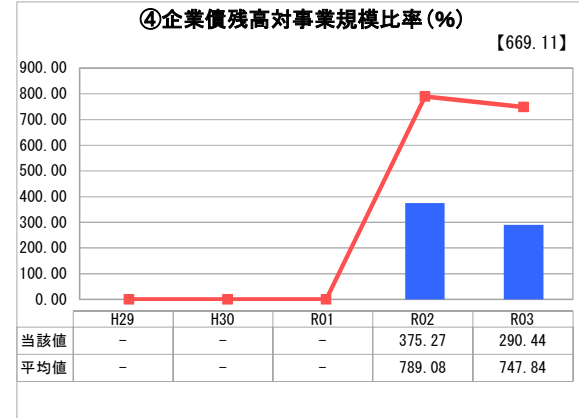
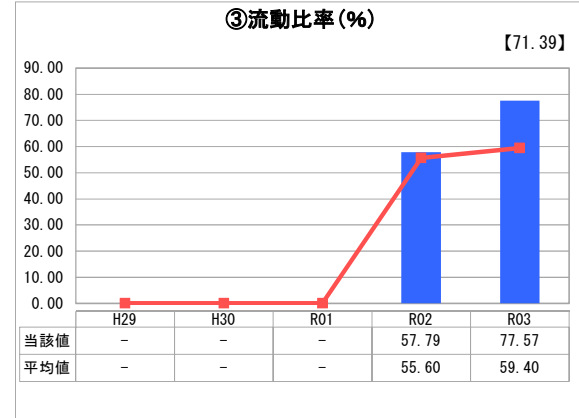
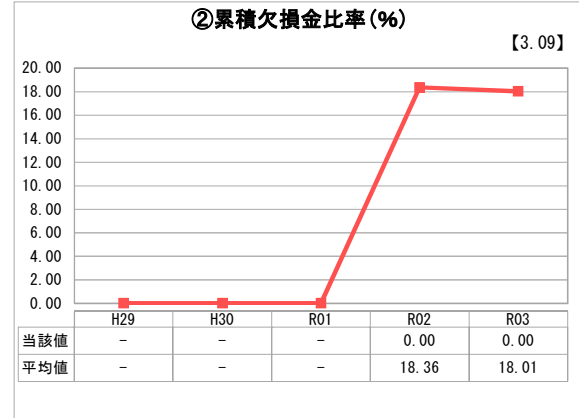
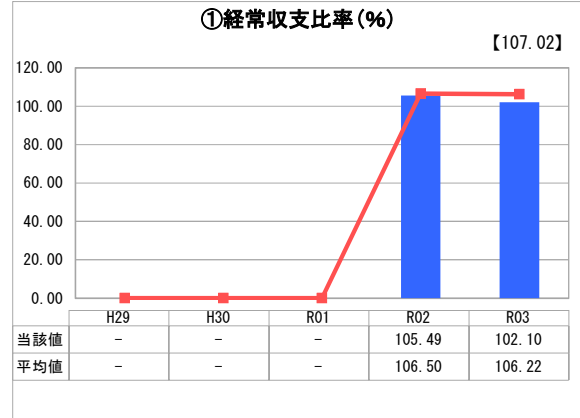
神奈川県 大井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.23	91.16	95.34	1,792

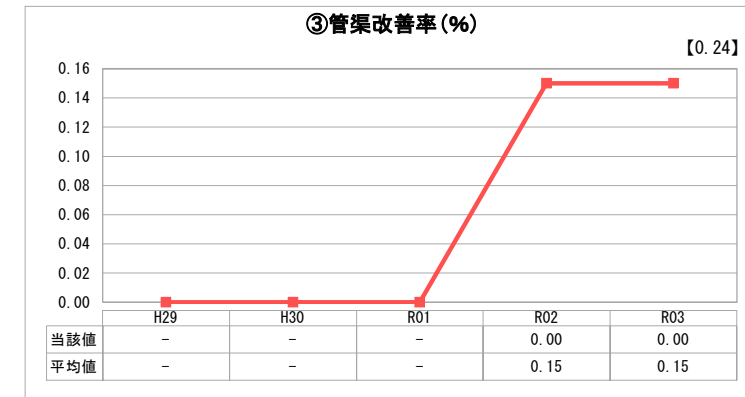
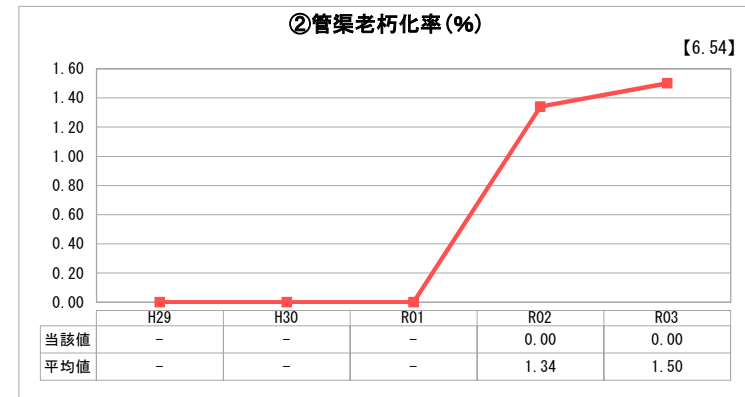
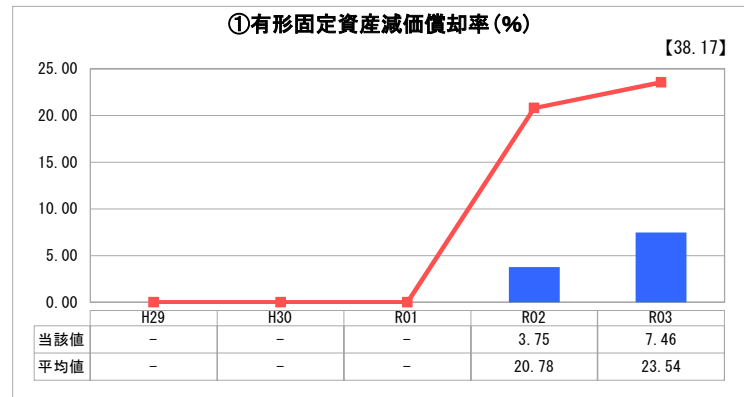
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,351	14.38	1,206.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,780	4.40	3,586.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年4月に地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行したため、令和元年度以前の数値は表示されていません。

① 経常収支比率は100%を超え、単年度収支が黒字であることを示していますが、一般会計繰入金が必要となります。

② 流動比率は前年度の数値を上回りましたが、依然1年以内の短期的支払に資金の余裕がない状況です。

③ 企業債残高対事業規模比率は企業債残高のピークを過ぎており、企業債残高は減少傾向にあります。

④ 経費回収率は70.19%と低く経常収支率同様、使用料収入の改善を図る必要があります。

⑤ 汚水処理原価は有収水量1m³当たりの汚水処理に要した費用であり、類似団体の平均値と比較すると低い状況です。

⑥ 水洗化率は未接続世帯への戸別訪問等を行っており、類似団体や全国平均より高い数値となっています。引き続き接続率の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は令和2年度に公営企業会計に移行したため、低い数値となっていますが、年々増加していきます。

また、本町は昭和61年の供用開始後36年程経過しています。下水道施設の維持管理と延命化が必要となってくる中、令和2年度に長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の状況を考慮し、ストックマネジメント計画を策定しました。令和4年度からこの計画に基づき、下水道施設の点検、修繕、更新への取組を行っていきます。

全体総括

令和2年度から公営企業会計に移行し経営状況がより明らかとなり、一般会計からの繰入金に依存している状況となっています。本来、下水道使用料で回収すべき経費が賸っていない状況であることから、経費回収率の向上に取り組んでいく必要があります。

また、継続して安定した下水道事業の運営を行っていくために、計画的な施設の老朽化対策を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。